

2023. 03. 10

2022 年度サステナブル建築事例集ホームページの更新公開について ～ 事例の充実 ～

(一社)日本建設業連合会(以下、日建連)は、2009年度より、会員各社の設計施工によるサステナブル建築の事例集をとりまとめ、ホームページ内のサステナブル建築に関するコーナーで公開しています。このサステナブル建築事例集は今年で14年目を迎え、事例が700件を超えるまで充実してきました。このコーナーではサステナブル建築事例集のほか、サステナブル建築特別委員会報告書、サステナブル建築を実現するための設計指針、CASBEE 対応状況および省エネルギー計画書に関する調査報告書も公開しています。2022年度の事例の一般公開は3月下旬の予定です。

1. 経緯

日建連は、旧BCS((社)建築業協会)時代の1990年より「建築業と地球環境」を重要な課題として位置づけ、各種の活動を行ってまいりました。2016年には「環境自主行動計画」第6版を日建連として作成し、環境への取り組みの一層の強化を図るべく、業界目標を定め、その実施状況をフォローアップしております。また、日建連は2012年に日建連建築宣言「未来に引き継ぐ確かなものを」を公表しました。その中の3つの基本方針のひとつである「低炭素・循環型社会の構築に貢献します」では、建築のゼロエネルギー化を目指して「既存建築物を含めたライフサイクルエネルギーの低減」「計画段階からの耐久性と更新性を考慮した長寿命化」に取り組むことを謳っています。

この施策の一環として、会員各社の設計施工案件(新築、改修、保存等)のうち特にサステナブル建築に取り組んだものを2009年度より事例集としてまとめ、インターネットで公開してきました。今年度も日建連の建築設計委員会環境設計専門部会がその取りまとめを行い、2022年度版として53件を追加し714件となりました。

今年度は建物用途では事務所が24件と最も多く、次いで工場・物流施設の8件、集合住宅7件と続き、12分類に渡る広範な事例が集まりました。(複合用途含む。)サステナブル建築としての選定の観点(カテゴリー*)としては、環境配慮技術45件、省エネ・省CO2技術40件、周辺・地域への配慮39件といった点が多くなっています。案件のCASBEE評価としては、Sランク13件、Aランク24件、B+ランク3件となっています。

また近年の建築分野での脱炭素への取り組みを反映して、ZEB/ZEHに関しては記載されているだけでも23件が認証取得あるいは取得予定で、その内訳はZEB5件、Nearly ZEB4件、ZEB Ready9件、ZEH-M Ready3件、ZEH-M Oriented2件となっています。

2. サステナブル建築事例集について

○事例件数は累計714件、今年度は会員16社から53件の提供を新しく受けました。

○設計施工の事例をまとめ、最新の事例を多く紹介しています(施工中案件も含む)。

○事例シートには、

名称、建築概要、カテゴリー*、案件の説明、図面、写真、サステナブル建築としての特徴の説明
主要な採用技術**、CASBEE評価結果、設計担当者名などが記載されており、案件ごとにA3版1枚
の事例シートにまとめています。

- 検索は建物名称、所在地、プロジェクト種別、建物用途、カテゴリー、竣工年、会社名、主要な採用技術より選択可能でしたが、2016年度の事例公開からは、任意のキーワード検索の機能を追加しユーザーがより利用しやすいシステムに改良しております。
- 今年度の本事例集では下記のような取組みを有する事例が多く紹介されており、事業企画、設計、施工、研究開発、建物の運用・管理などに広く、深く関わっている当会会員各社の特色が打ち出されたものとなっています。これらのポイントは図・写真を交えてわかりやすく説明されており、大いに参考として頂けるものと考えております。

◆ 高い環境性能

- ・ CLT、LVL、耐火木材等を活用した木造と S 造、RC 造とのハイブリッド構法の事例
- ・ 免震構造を活用した高層純木造耐火建築による ZEB Ready 達成事例
- ・ 周辺環境を考慮し、地域住民も利用できる施設を併設した物流施設の事例

◆ 公的な認証等の取得

- ・ 今年度 53 件中 ZEB/ZEH 認証取得は 23 件、そのうち物流施設は 6 件全て取得、住宅 ZEH-M は 7 件中 5 件で取得
- ・ CASBEE ウェルネスオフィス S を取得した事務所やウェルビーイングな働き方提案の事例
- ・ 国内大学で初めて、LEED-NC「プラチナ」・CASBEE「S ランク」同時に認証された事例

◆ 歴史の継承・既存ストックの利活用

- ・ 築後 50 年超のモダニズム建築や築後 90 年の洋館の保存と再生、活用した事例
- ・ 社用児童館を教育、会議、リモートワークが可能な研修所へコンバートした事例
- ・ 資源循環。脱炭素、ウェルネス、スマート化を取り入れた築 23 年のオフィスビル再生事例

◆ BCP、長寿命化、震災との関連

- ・ 災害時にも活用可能な省エネ設備採用により、7 日間機能維持可能な医療施設の事例
- ・ 電気設備や重要設備の上階設置をはじめとする、河川・内水氾濫やゲリラ豪雨への水害対策事例

◆ 設計手法や生産・工法など

- ・ PCa 外殻構造と S 造ハイブリッドによる生産性と品質管理の向上事例
- ・ 地域産業である地元産の CLT を利用し、独自の木質大空間実現構法を活用した事例

◆ 設備・エネルギー関連

- ・ 自然換気、自動検温、エアシャワー等、with コロナでの安全・快適な執務環境づくりの事例
- ・ 高効率ヒートポンプチラーとガス焚冷温水機による電気とガスのベストミックス空調熱源の事例
- ・ 大型庇設置による直射日光の遮蔽と下階庇からのバウンド光を同時に活用する事例

* カテゴリーとは、サステナブル建築への取り組み方に関する分類である。

「環境配慮デザイン」「省エネ・省CO2技術」「各種制度活用」「評価技術・フィードバック」「リニューアル」「長寿命化」「建物基本性能確保」「生産・施工との連携」「周辺・地域への配慮」「生物多様性」「その他」の 11 項目。

** 主要な採用技術とは、CASBEE の中項目にあわせた分類である。

「Q2.2 耐用性・信頼性」「Q2.3 対応性・更新性」「Q3.1 生物環境の保全と創出」「Q3.2 まちなみ・景観への配慮」「Q3.3 地域性・アメニティへの配慮」「LR1.1 建物外皮の熱負荷抑制」「LR1.2 自然エネルギー利用」「LR1.3 設備システムの高効率化」「LR1.4 効率的運用」「LR2.1 水資源保護」「LR2.2 非再生資源の使用量削減」「LR2.3 汚染物質含有材料の使用回避」「LR3.1 地球温暖化への配慮」「LR3.2 地域環境への配慮」「LR3.3 周辺環境への配慮」「Z その他」の 16 項目。

以上